

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2020年度 パフォーマンス向上会議情報(2020年4月8日(水)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2020年4月8日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【雑固体廃棄物焼却設備 バグフィルタ自動運転停止について】</p> <p>雑固体廃棄物焼却設備の運転中において、バグフィルタ(A)および(B)の差圧が高くなっていたため逆洗を試みたが、動作音が確認出来なかった。</p> <p>運転状況を確認した結果、バグフィルタ(A)および(B)の自動運転が停止していることを確認。</p> <p>動作履歴を確認した結果、3月26日に空気圧縮機(A)の運転確認を行った際、空気貯槽圧力低の警報が発生しバグフィルタ(A)および(B)の自動運転が停止したと推定。</p> <p>今後、原因調査・再発防止対策を検討予定。</p>	GⅢ	4月3日
2	<p>【雑固体廃棄物焼却設備 焼却炉(A)焼却運転中におけるバグフィルタ(A)の不具合について】</p> <p>雑固体廃棄物焼却設備 焼却炉(A)焼却運転中に、バグフィルタ(A)のホッパレベル1及び2の高警報発生を確認。</p> <p>原因は、不適合番号1「雑固体廃棄物焼却設備 バグフィルタ自動運転停止について」により、逆洗処理が滞ったため焼却灰が溜まりバグフィルタ(A)ホッパを詰まらせたことと推定。</p> <p>今後、バグフィルタ(A)の内部点検・清掃予定。</p>	GⅢ	4月5日
3	<p>【雑固体廃棄物焼却設備 廃油拔出しポンプ入口ストレーナの詰まりについて】</p> <p>雑固体廃棄物焼却設備 廃油ドラム缶から廃油拔出しポンプを使用し廃油の拔出しをしていたところ、ポンプ入口ストレーナにゴミが詰まり、廃油の抜き出しが出来なくなったことを確認。</p> <p>今後、当該ストレーナを清掃予定。</p>	GⅢ	4月3日
4	<p>【ミキサー車からの充填材排出作業中における左手指の負傷について】</p> <p>ミキサー車からの充填材排出作業中、ホッパー出口の受けバケツを持ち上げた際、ホッパー出口の金具に左手指があたり負傷。</p> <p>救急医療室にて、治療実施。</p>	GⅢ	4月3日